

## 初期症状が重要な副作用について No. 2

前回同様に、まれにしか起こらないが、初期症状のうちに対処が必要な

副作用について、代表的なものをご紹介します。

### ★ 急性腎不全 (きゅうせいじんふぜん : Acute renal failure)

さまざまな原因で、腎臓の機能が短期間に低下することをいいます。

腎臓の一番大きな役割は、老廃物や余分なナトリウム、塩素、カリウムなどを尿として体の外に排泄することです。急性腎不全になると、老廃物が血液中にたまり高窒素血症という状態になり、重い場合、人工透析をしないといけない状態になります。慢性腎炎や糖尿病性腎不全によりゆっくりと進行する慢性腎不全と異なり、その原因を除くことにより、多くの場合進行を止め、改善させることが可能です。早期発見と早期対応が、重症化を防ぐ一番良い方法です。

### 症 状

尿量が少なくなる、ほとんど尿が出ない、一時的に尿量が多くなる、  
発疹、むくみ、体がだるい。



何らかの薬を使用していて、このような症状がみられた場合は、  
放置せず、必ず主治医に伝えてください！！

### 原 因

薬によって引き起こされる場合があります。

代表的なものとしては解熱鎮痛薬（非ステロイド性抗炎症薬）、  
高血圧治療薬（特にアンジオテンシン変換酵素阻害薬）、抗生物質  
（アミノグリコシド系抗生物質）、抗菌薬（ニューキノロン系薬）、  
造影剤（ヨード造影剤）、抗がん剤（特にシスプラチン等の白金製剤）  
などの使用により引き起こされる場合があります。



## ★ 横紋筋融解症 (おうもんきんゆうかいしょう : Rhabdomyolysis)

骨格筋の細胞が融解、壊死することにより、筋肉の痛みや脱力などを生じる病態をいいます。その際、血液中に流出した大量の筋肉の成分(ミオグロビン)により、腎臓の尿管がダメージを受ける結果、急性腎不全を引き起こすことがあります。また、まれに呼吸筋が障害され、呼吸困難になる場合があります。

なお、横紋筋融解症は、夏期には脱水や熱中症によりあらわれる場合があります。

### 症 状

手足・肩・腰・その他の筋肉が痛む、手足がしびれる、手足に力がはいらない、こわばる、全身がだるい、尿の色が赤褐色になる。



何らかの薬を使用していて、このような症状がみられた場合は、  
放置せず、必ず主治医に伝えてください!!

### 原 因

薬によって引き起こされる場合があります。

さまざまな種類の医薬品があげられますが、使用頻度の高い医薬品では高脂血症薬、抗菌薬(ニューキノロン系)などが知られています。



## ★ 薬剤性パーキンソニズム (Drug-induced Parkinsonism)

### 症 状

動作が遅くなった、声が小さくなった、表情が少なくなった、歩き方がふらふらする、歩幅がせまくなった(小刻み歩行)、一歩目がでない、手が震える、止まらず走り出すことがある、手足が固い。

パーキンソン病と同じような症状を示す病態をパーキンソニズム(パーキンソン症候群)と呼び、そのうち、医薬品の副作用としてパーキンソン症状が現れるものを薬剤性パーキンソニズムといいます。パーキンソン病とは、体内のドーパミンという物質が不足して起きる病気です。



何らかの薬を使用していて、このような症状がみられた場合は、  
放置せず、必ず主治医に伝えてください!!

### 原 因

一部の胃腸薬や抗精神病薬などの医薬品で見られることがあります。